

# 第2学年 学年経営案

## 学年経営方針

### (1) 学年目標 『想』 気づき・考え・行動する

- 相手の立場に立って物事を考え、他を思いやり認め合う気持ちを育成する。
- 基礎学力を高め、家庭学習にも意欲的に取り組む態度を育成する。
- 規律ある生活を確立させるとともに、何事にも積極的に取り組ませる。
- 中学校卒業後の進路に希望をもち、進路実現に向けて未来を切り拓く力を育成する。

### (2) 基本方針

- ①学級活動、生徒会活動、行事等を通して、自身だけでなく相手の立場に立って物事を考えさせる。
- ②授業規律を確立させるとともに、自ら進んで学習に取り組む姿勢を身につけさせる。
- ③基本的な生活習慣を身につけさせるため、一貫した生活指導を行う。また教職員も生徒と共に活動する。
- ④保護者との連絡を密にし、学校と家庭で連携を取りながら指導を行う。

### (3) 具体的な方策

#### <生活面>

- ①竹中生としての意識を高め「あじみせ」を大切に指導を行う。
  - 「あ」：挨拶をする
  - 「じ」：時間を守る
  - 「み」：身だしなみを整える
  - 「せ」：整理整頓をする
- ②各専門委員会や係活動に対し積極的に取り組ませ、自ら活動する意欲を育てるとともに、望ましい集団や豊かな人間関係を育成する。
- ③仲間との触れ合いを重視し、その活動を通して他を思いやり、お互いに認め合う心を育成していく。
- ④時間を守り、はじめのある行動ができ、話を真剣に聞く習慣を身に付ける指導を行う。
- ⑤定期的に学年朝礼・集会を行い、学年教員が輪番で話しをする。
- ⑥いつ、いかなる場所でも自然と挨拶ができるように指導を行う。
- ⑦公共物を大切に、美化を心がけるように指導を行う。

#### <学習面>

- ①授業規律を確立させるとともに、自ら進んで学習に取り組む姿勢を身につけさせる。
- ②朝学習及び放課後補充を活用し、基礎学力の定着及び応用力の育成を図る。
- ③家庭学習の取り組みを通して、家庭学習の習慣を身につけさせ、生涯学習の基礎を身につけさせる。
- ④自分の将来について考えさせ、実現に向け、適切な進路を選択できるよう指導する。

### <総合的な学習の時間・進路指導>

各学期における目標を設定し、計画的に実施する。班、クラス、学年での発表会を充実させ、表現力を高める。また学年全体で取り組み、生徒の個に応じた指導を充実させる。

前 期：将来に対する展望を広げ、自らの未来予想図を考える（職場体験・進路学習）

後 期：最上級生に向け、思いやりの気持ちを大切にした人間関係を築きあげる

（鎌倉校外学習・TGG・修学旅行等）

### <その他>

- ①学年通信、保護者会等を通して、学校の取り組み、生徒の様子を理解してもらい、協力を求める。
- ②生徒個々の問題解決のために、特別支援委員会等を活用し、教育相談を充実させる。
- ③生徒の考え、行動を日頃の教育活動の中でつかみ、情報交換を綿密に行う。
- ④生徒の変化を敏感につかみ、学年全体で問題点や問題行動の未然防止を図るとともに、早期発見・早期解決を実践する。